



# 風っ子・環境キャンペーン

東吾妻町

## ホタルをきつかけに 学ぶ「水と環境」

東吾妻町立東小学校



発表のときに使ったお手製の新聞を手に微笑む4年生の児童

東吾妻町立東小学校（箱島）の生息地。6月中ごろから8月始めは、淡い光を放ちながらふわりふわりと飛び交う多くのホタルが観賞できます。同校では、地域のボラン

ティア団体（箱島ほたる保護の会）の人たちからホタルについて教わったり、PTAが開くホタル鑑賞会を楽しんだりしながら、ホタルに親しんでいます。3カ所にあるホタルの保養地には、案内板を立てる手伝いもしています。

4年生は総合の授業で、ホタルについて学び、保護者の前で発表するのが恒例です。今年8人が3つの班に分かれ、ホタルが卵からかえって成虫になるまでの変化や、ゲンジボタルとヘイケボタルの住む場所や体の違いなど、それぞれ興味を持ったことをインターネットや本で調べました。それに手描きのイラストを添えた新聞を作り、分かりやすく説明しました。

「ホタルは東地区の大事な宝物だと思いました」と言うのは、篠原尚汰さん。飯塚那実さんが「ホタルが成虫になつてからの寿命は1〜2週間と短く、可哀想だと思いました。生きている間はきれいな場所で過ごさせたい」と言うとうと、唐沢遼さんも「ごみ捨



調べたことをしっかり発表できました

てや川の掃除をして、ホタルが住みやすいきれいな環境を保ちたい」と話しました。

今後は、ホタルが住む場所の水質検査をしたり、自分たちが使った水はどうなるのかを調べたりしながら、環境について学びを深めていく予定です。

### 東吾妻町立東小学校

もりたみつる  
森田満校長 84人  
吾妻郡東吾妻町箱島1596-1  
TEL:0279-59-3014  
http://www3.wind.ne.jp/azuma-s/

大きな声のあいさつが自慢。集会や校外の大会での返事や、校歌を歌う大きな声にも元気がみなぎっています。



ホタルって  
かわいいね

群馬県のマスコット  
「ぐんまちゃん」  
許諾第30-111002号

## 身近にできるエコ活動

### 地球温暖化対策に対する未来世代の訴え

先日、9月23日にニューヨークで開かれた国連気候変動サミットでは、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥンベリさん（16）が、地球温暖化問題に対する未来世代の強い危機感について、涙ながらにスピーチを行いました。地球温暖化問題は、世代を問わず、地球上に生きる全ての人々に共通する問題です。新聞やテレビなどで、地球温暖化のニュースを目にした際は、家族や学校の先生、友達など、周りの人と一緒にこの問題について話し合い、どんな取り組みができるか考えてみてはいかがでしょうか？

群馬県環境アドバイザー 原田邦昭

風っ子・環境キャンペーンを応援します



お客様の思いを  
その先のお客様へ

独自の進化を続ける、私たちの情報加工技術。

それは、お客様の発信したい情報を最適なかたちに加工し、その先のお客様が一番欲しいタイミングでお届けする技術。

JOETSU 上越印刷工業株式会社

■本社・工場 〒371-0854 群馬県前橋市大渡町2-2-1

TEL.027-210-7000(代) FAX.027-210-7077

■東京営業部 ■福岡営業部 ■高崎プランニング・オフィス



スマートフォンはこちら  
https://www.joetsu-p.co.jp/

